

第3学年 外国語活動学習指導案

指導者 似内 織江

I 単元名 Unit8 What's this ? これなあに? (Let's try 1 文部科学省)

II 単元の指導構想

1 単元について

- 子どもたちは、初めて学習する外国語活動の時間を楽しみにしている。日本語とは違う音声に触れる時、日本と比べながら外国の文化や生活などを知る時、子どもたちは常に新しい発見をし、外国語を学ぶ楽しさを実感している。また、外国語で自分の思いを伝えられたことができた時、友達の思いを理解することができた時、子どもたちは外国語を使ってコミュニケーションを図る喜びを感じている。進級して初めてのクラス替えをした今、子どもたちにとって外国語活動の学習は、相手を理解しようと思いやりを育んだり、自分のよさに気付いたりするよい機会となっており、新たな人間関係を育む時間であると考え。
- 本単元は、どの子どもも興味関心をもつことができるような身近なものをテーマに設定し、クイズ形式で会話を進めていく内容になっている。友達の考えを知りたい、自分の考えを伝えたいという子どもたちの思いに沿った単元であると考え。そこで本単元の言語活動では、身近な生活や他教科の学習と関連を図りながらクイズの内容を考えていき、みんなが楽しくコミュニケーションを図ることができるようにしていく。また、既習の語彙や表現を十分に使うことができる学習内容であるので、積極的に取り入れながら、学級の友達との人間関係や他者理解をさらに深めていきたい。
- 指導にあたっては、導入段階では、理科、社会などの学習に関連する内容のクイズを出し、子どもたちの身の回りや身近な学びの中からクイズができることを理解させ、本時の単元に興味をもたせる。
展開段階では、子どもたちが知りたい新しい語彙や表現、活用したい既習の語彙や表現を確認しながら、言語活動に向けて準備を進める。外国語に不安を感じる子どもも見られるので、困ったことを言えるような安心した雰囲気を作りながら、非言語的要素を生かして伝えることのよさも伝え、どの子どもも自信をもってコミュニケーションを図ることができるようにする。また、表現に慣れ親しませる際には、歌や読み聞かせを積極的に取り入れ、楽しみながら繰り返し聞いたり話したりする工夫をしていく。
終末段階では、外国語を通して友達とかかわる場面を多く設定し、外国語におけるコミュニケーションの楽しさや喜びを実感させたり、自他のよさに気付かせるようにしたりする。

【単元における見方・考え方を働かせた学習活動と期待する子どもの姿】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方	<p>外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生は理科や社会、外国語活動と初めて取り組む教科が多く、学びの中で初めて気付くことが多い。これらの気付きを教科横断的につなげながら、言語活動を設定し、学習に興味関心を高めるようにする。 ・ 初めてクラス替えをした3年生の人間関係作りを視点に、友達と協力して取り組む言語活動を設定する。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を整理しながら考えなどを形成し再構築する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的意識や相手意識を明確にし、子どもたちが伝えたい、聞きたいという思いや願いを満たす場面を設定する。また、既習表現や非言語的要素を活用して、自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、相手の気持ちなどを理解したりできるようにする。
期待する子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達のクイズを進んで聞いたり、自分たちのクイズを分かりやすく伝えたりする姿 ・ 外来語とそれが由来する英語の違いや身の回りの物の言い方を知ることを通して、外国語と日本語の面白さに気付く姿 ・ 友達と協力してクイズを考える姿 	

2 復興教育（3つの教育的価値）との関連

- かかわる「⑨仲間とのつながり」とのかかわり
クイズ大会を通して、相手のことを考えて準備や発表をすることで、よりよい人間関係を構築する。

Ⅲ 単元の指導計画

1 単元の目標

知識及び理解	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
①外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	②工夫してクイズの準備をする。 ③クイズを出したり答えたりし合う。	④相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。

2 学びのつながり

4月から始まった外国語活動では、外国語を「聞く」「話す」体験的な学習を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育んできた。子どもたちは外国語でコミュニケーションを図る楽しさや喜びを感じている。本単元では、子どもたちがより主体的にコミュニケーションを図るために、目的意識や相手意識を明確にもたせることを大切にしながら「聞く」「話す」を中心にした資質・能力を高めていく学習を展開していく。また、理科、社会などの他教科との関連を図り、それぞれの気付きをつなげながら、より他教科の学びを深め、興味関心が高まるようにしていく。

本単元の学習を通して、他を思いやりよりよい人間関係を形成する力、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力など、本校で育成を目指す資質・能力も高めていくことができるよう、期待する子どもの姿に位置付けていく。また、この身に付いた力は、授業や教育活動、日々の生活に発揮できるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	②工夫してクイズの準備をしている。 ③クイズを出したり答えたりしている。	④相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。

4 単元の指導構想と評価の計画【全5時間…4時間+1時間（15分×3回）】

時	学習内容 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方	研究にかかわる手立て	評価規準
1 本時	①あいさつとウォーミングアップ 前単元を振り返り英語でやり取りをする。 ②Let's play1 を活用してクイズに挑戦する。 次に、教師が準備したクイズに挑戦する。 ③単元の学習内容を理解し、学習を通して、学びたいことやどのようなことができるようになりたいかなど、学習の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 単元のゴール 身の回りの物を使ったクイズを考え、クイズ大会を開こう。 </div> ④クイズ大会に必要な表現や語彙（カテゴリー）、クイズの出し方を考える。 ⑤Let's Chant “What's this?” を歌い、尋ねたり答えたりする表現に慣れる。 ⑥絵本の読み聞かせを聞く。 “Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?” をクイズ形式で聞く。 ⑦学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師クイズは、理科、社会などの学習に関連する内容とし、子どもたちの身の回りや身近な学びの中からクイズができることを理解させ、本時の単元に興味をもたせる。【手立て1】 ・子どもたちとともに言語活動を設定し、単元の見通しをもたせる。また、他教科や教育活動との関連、本校で育成を目指す資質・能力を踏まえながら、ループリックを設定し、単元で目指す姿を共有する。【手立て1・3】 ・クイズについて子どもとやり取りをしながら、クイズ大会に必要な表現や知りたい語彙、既習表現などを確認する。【手立て2】 ・クイズを出す相手やクイズの出し方についてもイメージさせ、言語活動の見通しをもたせたり、相手意識を高めさせたりする。【手立て1】 	評価 ①・② 振り返りの記述(ポートフォリオ) 発言・行動ループリックの設定 【手立て3】
2	①あいさつとウォーミングアップ Let's Chant “What's this?” の歌詞を変えながら歌う ②本時の学習のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は言語活動に必要な表現やクイズの出し方を知る1時間であることを押さえる。【手立て1】 ・円滑にコミュニケーションを図るため 	評価 ①・② 振り返りの記述(ポート

	<p>いろいろなクイズに挑戦しよう。</p> <p>③Let's play と Activity を活用して、様々なクイズに取り組み、クイズの出し方を知る。 ○シルエットクイズ ○ヒントクイズ ○漢字クイズ ○足あとクイズ</p> <p>④Activity のクイズを使ってペアでクイズを作り、工夫しながら友達と出し合う。</p> <p>⑤絵本の読み聞かせを聞く。 “Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?” をクイズ形式で聞く。</p> <p>⑥学習の振り返りをする。</p>	<p>に必要な表現などを掲示して、積極的に取り入れる環境を作る。【手立て2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字クイズでは、漢字の読みと英語での読みを比べ、言葉の作りや言葉に対する考えの共通点、相違点に気付かせたり、外国語の面白さを味あわせたりする。【手立て1】 ペアでクイズを出し合う場面で、パフォーマンス評価を進め、会話のつまずきを中心に見取っていく。【手立て3】 ルーブリックをもとに、頑張ったところを中心振り返らせる。【手立て3】 	<p>フォリオ) 発言・行動パフォーマンス評価 【手立て3】</p>
3	<p>①あいさつとウォーミングアップ Let's Chant “What's this ?” 歌詞を変えながら歌う。</p> <p>②本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>みんなで、クイズを考えてクイズ大会の準備をしよう。</p> <p>③教師と子どもたちでクイズ大会のデモンストレーションを行い、イメージをもつ。 また、相手に伝わるような工夫を考える。</p> <p>④グループごとにクイズを考えて準備する。 ○クイズの出し方 ○使う語彙 ○発表の練習 (話し方の工夫)</p> <p>④学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> クイズ大会に向けて、相手が分かりやすいように伝え方の工夫や、既習表現や非言語的要素の活用を考えさせながら、クイズ大会の具体的なイメージをもたせる。【手立て1・2】 子どもたち同士でクイズの出し方を見合わせながら、自分のよさや友達のよさに気付かせるようにしたり、教師が価値付けたりする。【手立て3】 	<p>評価 ③・④ 振り返りの記述(ポートフォリオ) 発言・行動パフォーマンス評価 【手立て3】</p>
4	<p>①あいさつとウォーミングアップ Let's Chant “What's this ?” 歌詞を変えながら歌う。</p> <p>②本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>クイズ大会を開こう。</p> <p>③みんなで楽しくクイズ大会をするために、相手に伝わるために聞く活動、話す活動で工夫することを確認する。</p> <p>③グループごとにクラスみんなにクイズを出し合う。</p> <p>④本時や単元を通しての振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちと目指す言語活動を確認し、本時はその言語活動を行う1時間であることを確認する。【手立て1】 振り返りカードで学びを振り返ったり、他者評価や教師の価値付けなどの視点化あら自分の伸びを実感したりする。【手立て3】 振り返りは言語面、内容面にわけて行い、外国語を通してコミュニケーションを図る楽しさを実感させたり、次時への学習意欲につなげたりする。【手立て3】 	<p>評価 ③・④ 振り返りの記述(ポートフォリオ) 発言・行動パフォーマンス評価 【手立て3】</p>
+ 1	<p>1時間 (15分×3回) ○朝学習の時間に充てる。 ○語彙に慣れ親しむ時間やクイズの準備の時間とする。</p>		

5 本時で扱う言語材料

【表現 (下線部が新出の表現)】

What's this? Hint, please. It's (a fruit). It's (green). It's (a melon). That's right.
I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. No, I don't.

【語彙・語句例】

動物, 植物 (理科), 記号 (国語, 社会), 果物・野菜, 飲食物, 色, 形, 状態などを表す言葉

6 言語の働きに関する事項 (全ての事項において、非言語要素の活用も重要であることを指導する)

- (1) コミュニケーションを円滑にする(例) Hello,~. Hi. Yes. O.K.
- (2) 気持ちを伝える (例) Thank you. Great. Good.
- (3) 事実・情報を伝える(例) It's (a fruit). It's (green).
- (4) 考えや意図を伝える(例) Let's~. Yes, let's. I like~.
- (5) 相手の行動を促す(例) Do you like ~? What's this? Hint, please.

IV 本時の指導計画

1 目標

- クイズ大会にむけて、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

2 評価規準

【知識・技能】

身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。

【思考・判断・表現】

工夫してクイズの準備をしている。

<努力を要する状況の児童への手立て>

初めは教師や安心して会話ができる友達と一緒に取り組むことと、非言語的要素の活用を促すことを手立てとする。また、コミュニケーションを図ろうとする態度を積極的に価値付け、自信をもたせるようにする。

3 展開 (1/5時)

段階	学習活動と子どもの姿	時間	研究に関わる手立て	留意点(・)と評価【 】
導入	1 あいさつとウォーミングアップ ○前単元の Unit4 I like blue.を振り返りながら、やり取りを楽しむ。 2 教師が準備したクイズに挑戦する。 外国語でクイズができるなんて楽しい。 理科や社会でもクイズができそう。	7分	○教師のクイズを通して、子どもたちの身の回りや身近な学びからクイズができることを理解させ、本時の単元に興味をもたせる。 手立て1	・英語を聞いたり話したりする活動を十分に取り入れ、外国語を楽しく学習する雰囲気を作る。 ・理科や社会で学んだことや身近なものをを使ってクイズを準備し、身近に学んだことや身の回りのものからクイズを作ることができることに気付かせる。
展開	3 単元の学習内容を理解し、学習を通して、学びたいことやどのようなことができるようになりたいかなど、学習の見通しをもつ。 クイズの尋ね方や答え方を知りたい。 動物や植物の言い方を知りたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">単元のゴール 身の回りの物を使ったクイズを考え、クイズ大会を開こう。</div>	8分	○子どもたちの思いや願いをもとに言語活動を設定し、単元の見通しをもたせる。他教科や教育活動との関連、本校で育成を目指す資質・能力を踏まえながら、ルーブリックを設定し、単元で目指す姿を共有する。 手立て1・3	・相手意識をもたせながらクイズの出し方を考えさせる。 ・初めての曲なので、スモールステップで歌うようにする。
	4 Activity1 ○Let's Chant "What's this?" を歌い、尋ねたり答えたりする表現に慣れる。 ・尋ねる役と答える役に分かれて歌ったり、ジェスチャーゲームを取り入れてペアでクイズを出し合いながら歌ったりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">A: What's this? B: It's a dog. It's a monkey. It's a tiger. A: Wow, that's right.</div>	20分	○クイズ大会に必要な表現や知りたい語彙、既習表現などを確認する。 手立て2 ○歌や読み聞かせでは、既習表現やジェスチャーなども取り入れてコミュニケーションを図りながら行う。 ○尋ねたり答えたりする表現を繰り返し聞いたり話したりしながら慣れ親しませる。 手立て2	・不安な表現や、もう一度聞きたい表現を確認する。 ・歌い方を工夫して楽しく繰り返し表現に慣れ親しむようにする。 ・非言語要素を示し、会話を続けるように促す。 【評価①・②】 行動観察、発言
終末	5 Activity2 ○絵本の読み聞かせを聞く。 "Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?" を聞く。 6 学習の振り返りをする ○単元のめあてや目指す姿をもとに振り返る。 ○次時に目標を設定する。 クイズを作って友達に問題を出したい。	7分 3分	○単元の見通しやルーブリックをもとに単元を通して振り返り、自分の変容や友達のよさに気付くようにする。 手立て2	・尋ねたり答えたりする表現を取り入れた読み聞かせを聞き、本時の表現に再度慣れ親しませる。 【評価①】 発言 ポートフォリオ 評価